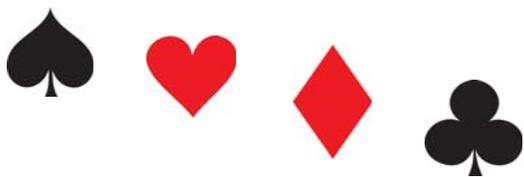


コラム スーツの図柄に込められた意味

カードのスペード、ハート、ダイヤモンド、クラブという4つのスーツはどうしてこのような形なのかご存知でしょうか？

これにはいくつかの説がありますが、一般的にはスペードは剣、ハートは聖杯、ダイヤモンドは貨幣、クラブは棍棒を表し、それぞれ騎士、聖職者、商人、農民という中世ヨーロッパ社会の4つの身分を象徴しているといわれています。



また絵札のモデルについては、スペードのキングがダビデ王、ダイヤモンドのクイーンが旧約聖書に登場するラケル(ヤコブの妻)、クラブのジャックは円卓の騎士ランロットなどといわれていますが、こちらにも諸説あり、明確なことはわかっていません。

ちなみにスーツの図柄は世界共通というわけではなく、ドイツでは木の葉、心臓、鈴、どんぐりをそれぞれ図案化したものが4つのスーツだそうです。ちょっと見てみたいですね。

常設会場所在り

東京都／四谷・五反田・高田馬場・東中野・大塚・渋谷・町田
神奈川県／横浜・大船 千葉県／船橋・柏
名古屋 大阪
札幌 仙台 静岡 福岡

“ブリッジは私たちに論理的思考、推論すること、
すばやく判断すること、忍耐、集中、
そしてパートナーシップを教えてくれる”
マルティナ・ナブラチロワ (テニスプレイヤー)

“年齢に関係なく遊べるゲームだ。若い時に覚えれば
一生楽しめる。
ブリッジのような奥深さをもつゲームはめったにない”
ビル・ゲイツ (マイクロソフト社創業者)

日本コントラクトブリッジ連盟

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟 (JCBL) は、ブリッジの普及・発展と会員の親睦を目的として1953年に設立された団体です。1982年に社団法人として認可され、2012年4月に公益社団法人へ移行しました。世界ブリッジ連合に加盟し、全国レベルの競技会の主催・公認、段位にあたるマスター位の授与、体験教室や講習会の開催、国際大会への選手派遣、会報の発行などの事業活動を行っています。

体験教室・講習会

まったく初めての方を対象にした体験教室や入門講習会が全国各地のブリッジセンター、ブリッジクラブ、カルチャースクール等で開催されています。

マイクロミニブリッジ

無料でダウンロードできるコンピューターゲームソフトでお楽しみください。

[マイクロミニブリッジ](#) [検索](#)

Let's Play コントラクトブリッジ



公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟 本部事務局

〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-6-5 新横浜第一生命ビル4階
電話 045 (534) 8300
FAX 045 (534) 8312
E-mail info@jcbl.or.jp
公式ウェブサイト www.jcbl.or.jp



202602



♣️ コントラクトブリッジの世界へようこそ

コントラクトブリッジは4人がテーブルを囲み、2人対2人のペアで戦う「ダブルス」のゲームです。勝つのも負けるのもパートナーと一緒に。パートナーと心を合わせ、対戦相手のペアと知恵を競います。初めて会った人同士でも一組のカードがあれば言葉や国境を越えてつながることができる、それがコントラクトブリッジの魅力であり、世界中で親しまれている最大の理由でしょう。

♣️ ゲームのあらまし

コントラクトブリッジは「トリック・テイキングゲーム」です。まずオークション(競り)から始まります。オークションではトランプ(切り札)を自分たちに1番有利なスーツ(カードの図柄)に指定しながら、13トリック(組)のうち何トリック取るかを決めます。トランプと、何トリック取るかのコントラクト(約束)が決まると、プレイが始まります。

♣️ ブリッジの種類

コントラクトブリッジには遊び方によって、ラバー・ブリッジとデュプリケート・ブリッジの2種類があります。ラバー・ブリッジは家庭向きで、どんな場所でも4人集まればすぐに始められ、いつでもやめられる長所があります。デュプリケート・ブリッジはおもに競技会で行われる方法で、参加者全員が同じハンド(手札)をプレイします。運の要素が少なくなり、技術の優劣を競う形式になっています。

♣️ コントラクトブリッジとミニブリッジ

1529年の文献に、ブリッジのもととなったゲーム「ホイスト」が英国で発祥したという記述があります。その後欧米各地に広がり、20世紀には「オークションブリッジ」に発展しました。さらに1925年アメリカで、鉄道王ハロルド・ヴァンダービルトが得点の仕組みなどを改良して現在の「コントラクトブリッジ」が完成しました。コントラクトブリッジは覚えなければならないことがいろいろとあるため、一通り遊べるようになるまでにはかなり時間がかかります。そこで、楽しさを損なうことなくすぐに覚えられる「ミニブリッジ」がコントラクトブリッジの簡易版としてオランダで1990年代に考案されました。

さあ、ミニブリッジを始めましょう！

■人数 4人

■準備 カード1組 ジョーカーをのぞいた52枚

■スーツのなまえ



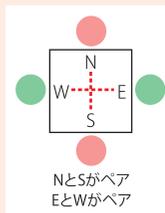
■カードの強さ

スペード ハート ダイヤモンド クラブ

強い順に、Aエース、Kキング、Qクイーン、Jジャック、10テン、9、8、…、2(最弱)です。

■ブリッジはペアゲーム

向かい合った人があなたのパートナーです。お互いのハンドを想像しながら、「自分たち側」がたくさん勝てるように協力してプレイします。



■「トリック」とは

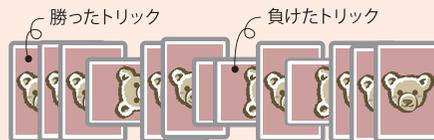
ブリッジでは、4人が時計まわりにカードを1枚ずつ出していきます。この順番で出された4枚1組のカードを「トリック」といいます。最も強いカードを出した人がそのトリックを勝ちます。

■フォローの原則

トリックの最初のカードを出すことを「リード」といいます。2番目以降の人はリードされたカードと同じスーツを持っている場合には、必ず出さなければいけません(フォロー)。同じスーツがなかったら、別のスーツのカードを出しますが、勝てません。間違えると反則になります。

■トリックの勝ち負けを数える

終わったカードは各自の前にずらして伏せていきます。勝ったトリックは縦、負けたトリックは横にします。ペアゲームなので、トリックを勝った人のパートナーも「勝った側」となります。※一旦伏せたカードを後から見ることはできません。



■ブリッジの配役紹介

一緒にテーブルを囲む4人には、それぞれ配役があります。「ディクレアラー」という主役と「ダミー」という脇役のペア、その対戦相手ペアは準主役の「ディフェンダー」です。これらの配役は、1ディール(1回戦)ごとに決まります。

ディクレアラー

ディクレアラーはそのディールで、プレイの主導権を握っています。一般のゲームの「親」にあたります。自分のハンドとダミー[下記の2人分のハンド]をプレイします。

ダミー

ディクレアラーのパートナーのことで、自分のハンドをテーブル上に公開します。この公開されたハンドも「ダミー」といいます。ダミーは、ディクレアラーの指示に従ってカードを出していきます。

ディフェンダー

ディクレアラー側の対戦相手です。2人で協力して精一杯ディクレアラーに対抗し、トリックの勝ち数を競います。

■トランプとは

ディクレアラーは、ダミーが公開されたら4つのスーツのうち、1つをトランプに指定することができます。トランプは数字に関係なくほかのどのスーツにも勝てる最強のカードで、リードされたスーツがないときにそのトリックを勝つことができます。トランプの中でも強さの順序があり、Aが最強で2が最弱です。ディクレアラーは「ノートランプ(切り札なし)」を宣言することもできます。※裏面⑤参照

トランプを出せる3つの状況は…

- ①自分がトランプをリードするとき
- ②トランプがリードされたとき(フォロー)
- ③リードされたスーツを持っていないとき

〈♣️がトランプのとき〉



●ミニブリッジの流れ●

①カードを配る

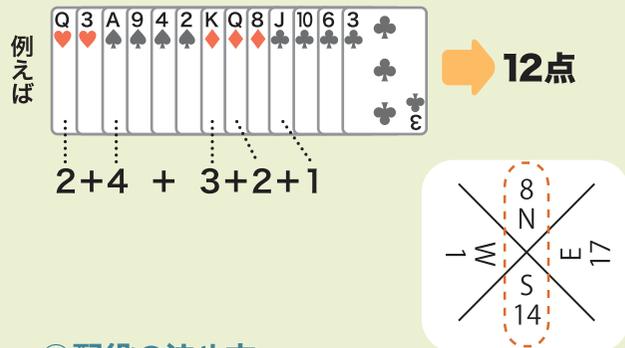
ディーラー(配り手)の左から、4人に全部のカードを配ります。各自13枚ずつあることを確認したら、表紙のイラストのようにハンド(手札)をスーツごとに並べて持ちます。

②絵札点の発表

ブリッジではハンドの強さを点数で表します。絵札には固有の点数=「絵札点」があるので、ハンドの絵札点の合計を発表します。

絵札点：A=4点、K=3点、Q=2点、J=1点

●4人の合計：40点



③配役の決め方

2人の絵札点の合計が多い方のペアが主導権を取ります。さらに、この2人のうち、より多く点数を持っている人が「ディクレアラー」です。もう1人は「ダミー」です。他方のペアは「ディフェンダー」となります。

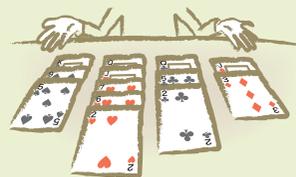
※「4人のうち一番点数を持っている人」がディクレアラーになるわけではありません。

※20点同士になったら配り直します。

※12点同士など2人が同点のときは、ディーラーかディーラーの次の人がディクレアラーになります。

④ダミーを広げる

ダミーに決まった人はハンドを右のようにスーツごとに分けて公開します。⑤でトランプが決まったら、そのスーツをダミーから見て1番前に置き換えます。



⑤ディクレアラーが宣言をする

自分のハンドとダミーを見て、できるだけ多くのトリックを取るつもりで「トランプの種類」と「ゲーム/ノーゲーム」を選択して宣言します。

⑤-1「トランプ」「ノートランプ」の選択

トランプをどれにするか迷ったら、自分とダミー合わせて8枚以上あるスーツがあれば、それをトランプに選ぶと有利です。なければノートランプにします。

⑤-2「ゲーム」「ノーゲーム」の選択

ノートランプ=9トリック、♠・♥=10トリック、♣・♦=11トリック以上を勝てそうだと思えば「ゲーム」を宣言します。無理だと思えば「ノーゲーム(7トリック勝つこと)」を宣言します。宣言を達成するとボーナス点がつきます。

達成ボーナス点：

宣言のレベルにより ゲーム 500点/ノーゲーム 50点

■宣言「○○を切り札にして、ゲーム/ノーゲームをします。」

勝てそうなトリック数の見当がつかないときは、目安として、自分とダミー合わせて 26点以上 あれば、ゲーム宣言してみましょう。

⑥第1トリック：オープニングリードをする

第1トリックのリードを「オープニングリード」といい、ディクレアラーの左側の人リードします。

⑦第1トリック：終わりまでプレイする

時計まわりにプレイするので、オープニングリードの次はダミーがカードを出す番です。ダミーがプレイするカードをディクレアラーが口頭で指示します。

ダミーは言われたカードを出します。続いてもう一人のディフェンダー、最後はディクレアラーがプレイします。これで第1トリックのプレイが終わりました。トリックの勝ち負けを確認してカードを伏せます。

⑧第2トリックから第13トリックまでプレイする

前のトリックを勝った人に、次のトリックのリード権が移ります。フォローの原則を守り、残りの12トリックをプレイします。

⑨13トリックの勝ち負けを対戦相手と確認する

13トリックのプレイ終了時に、ディクレアラー側が何トリック取って「宣言を達成した/しなかった」を全員で確認します。

⑩スコアをつける

達成したとき

トリック点+ボーナス点 (500点または50点)

トリック点 7トリック目から1トリックごとに加算

♣・♦がトランプのとき 20点

♥・♠がトランプのとき 30点

ノートランプのとき 7トリック目のみ40点

8トリック目から30点

達成しなかった(ダウン)とき

足りないトリック数×100点がディフェンダーの得点になります

達成できなかったことを「ダウン」といいます。

もし、♠のゲームを宣言して、9トリックしか勝たなかったら「1ダウン」です。

達成したときのスコア表

勝ったトリック数	ノーゲーム			ゲーム		
	♣・♦	♥・♠	ノートランプ	♣・♦	♥・♠	ノートランプ
7	70	80	90			
8	90	110	120			
9	110	140	150			600
10	130	170	180		620	630
11	150	200	210	600	650	660
12	170	230	240	620	680	690
13	190	260	270	640	710	720

ディクレアラーのプレイ

ディクレアラーは、対戦相手のペアよりも絵札点が多く、好きなスーツをトランプに選び、なおかつ自分とダミーのハンドの両方をプレイできるので、ディフェンダーに比べ、圧倒的に有利です。この有利さを発揮できるよういくつかテクニックを紹介します。

プロモーション (カードの昇格)

たとえば同じスーツのKとQとJを持っていたら、どれか1枚をリードしてみましょう。Aに負けたあとは残りの2枚が昇格して、勝てるようになります。自分で「昇格させたい」と思って行動することが大事です。

エスタブリッシュ

スーツはそれぞれ13枚ずつありますが、枚数を多く持っていることは強みです。そのスーツをひたすらリードし、誰も持っていない状態にすれば、トランプを出されないかぎりトリックを勝てます。

トランプ狩り

ディクレアラーのA・Kやエスタブリッシュしたカードが対戦相手のトランプに負けたら…あまり考えたくはないですが、まま起きることで。相手の少ないトランプが有効に使われてしまう前に、ディクレアラーになったら、まずディフェンダーのトランプを狩り集めましょう。

ディフェンスのコツ

パートナーのハンドが見えないディフェンスは非常に難しいものです。何番目に出すかという立場によって、カードの選択も変わってきます。

トリックの1番手のときに出すカード

ここがディフェンスの1番難しいところ。たとえばパートナーが前にリードしたスーツなんてどうでしょう？パートナーはそのスーツが強いのかも？

トリックの2番手のときに出すカード

迷ったときは小さいカードをプレイします。トリックの最後にはパートナーがカードを出します。パートナーは強いカードを持っているかもしれません。

トリックの3番手のときに出すカード

迷ったときはなるべく強いカードをプレイします。パートナーはすでにカードを出しています。ディクレアラーにやすやすとは勝たせない！という気持ちでプレイします。

トリックの4番手のときに出すカード

どのカードを出せば勝てて、どのカードを出せば負けるかがわかっています。パートナーがすでに勝っていたら、それより強いカードを出す必要があるかどうかは、状況によります。

コントラクトブリッジ

オークションに挑戦！

●コントラクトブリッジの流れ●



さて、いよいよカードゲームの王様といわれるコントラクトブリッジのオークションに挑戦してみましょう。ミニブリッジでは絵札点によってディクレアラーを決めましたが、コントラクトブリッジでは、プレイの前にオークションをして、ディクレアラーになる権利を得ます。

カードが配られたら各プレイヤーは自分のハンドを見て「パートナーと2人で何をトランプ(またはノートランプ)にして何トリックとるか」をディーラーから順番にブリッジ用語を使って宣言していきます。これをビッドといいます。オークションで一番低いビッドは、過半数の7トリック以上をとるという1の代での宣言です。オークションに参加するには、前の人よりも高い代や順位の高いスーツをビッドしなければなりません。

3人が続けてパスするとオークションが終了します。最後に「ビッドされたトランプ」と「取るトリック数のレベル」がコントラクトとなります。ディクレアラーは、ペアのうちトランプに決まったスーツを最初にビッドした人です。

取るトリック数のレベル

7♣	7♦	7♥	7♠	7NT	読み方 例
6♣	6♦	6♥	6♠	6NT	1♣ (ワンクラブ)
5♣	5♦	5♥	5♠	5NT	7NT (セブンノートランプ)
4♣	4♦	4♥	4♠	4NT	※1NTの次にビッドできるのは、
3♣	3♦	3♥	3♠	3NT	2♣以上です。
2♣	2♦	2♥	2♠	2NT	逆戻りはできません。
1♣	1♦	1♥	1♠	1NT	

↑ スーツの順位 →

オークションは38語のコミュニケーション

ブリッジはパートナーと力を合わせて戦うゲーム。パートナー同士の協力関係は、オークションから始まります。ビッドはコントラクトの宣言であると同時に、パートナーに情報を伝えるコミュニケーション手段でもあります。オークションで使えるコール(言葉)はわずか38語！たったそれだけのコールで2組のペアはハンドの強さやスーツの枚数の情報を伝え合い、自分たちにとって最適のコントラクトを探っていくのです。

オークションで使う38のコール

1♣～7NTまでの全35種類のビッド、ダブル、リダブル、パス

ダブルとリダブル

■「ダブル」は相手側のコントラクト達成を阻止できる自信のあるとき相手側のビッドに対してするコールで、トリック点やボーナス点、コントラクトが達成できなかったときのディフェンス側の得点を増やそうという意味です。

■「リダブル」は、相手側が「ダブル」と宣言してきたけれど、絶対にこのコントラクトを達成する自信がある！という場合にするコールで、得点はダブル付きのときよりもっと多くなります。

♠ AJ42	♠ 876
♥ AQ1053	♥ K742
♦ 64	♦ 9753
♣ K7	♣ 95
♠ 109	♠ KQ53
♥ 86	♥ J9
♦ QJ10	♦ AK82
♣ AQJ1086	♣ 432

ディーラー



W	N	E	S
	1♥	パス	1♠
2♣	2♠	パス	4♠
パス	パス	パス	-

コントラクト：4♣
ディクレアラー：S

オークションは、このように進みます。自分がトランプとしてプレイしたいスーツを持っていたら、まずはビッドしてみましょう。パートナーがそのスーツをトランプにすることを応援してくれたらしめたものです。

もし、対戦相手も競りから降りなかったら、コントラクトが高くなりすぎることもあるでしょう。達成を阻止できると思えば「ダブル」をかけ、ダウンしたときの得点を増やしましょう。逆にダウンしなかったら、ダブルをかけたことで高得点を献上することになりますが…それもスリルですね。